

協議会における当面の検討事項(案)

1 普及啓発

(1) 都民・事業者向けシンポジウムの開催(時期:平成29年秋・冬頃)

- ・社会モデルを踏まえて、障害への理解を深め、合理的配慮を考えるきっかけ作りを行う。
- ・実施方法は、当事者の参加と先行事例の発表等の構成を想定。

(2) 事例集の作成(時期:平成29年度内)

- ・平成28年度に実施した「障害者への差別事例及び合理的配慮の好事例等の調査」の結果やこれまでの相談・受付内容等を踏まえ、事例集を作成。
- ・事例集を読むことで、障害者差別解消に向けた理解が深まる内容とするために必要となる条件は何か、検討。
- (例) 各事例に当事者・事業者双方の視点をコメントとして記載し、建設的対話をシュミレーションする。

(3) 作成したパンフ・動画を活用した普及啓発

- ・平成28年度に作成したパンフ・動画をどのように活用し、更なる普及啓発に取り組むのか。

2 障害者への理解促進及び差別解消のための条例の制定に向けた検討

(1) 条例制定に向けた検討

- ・「障害者への理解促進及び差別解消のための条例制定に係る検討部会」の報告を受け、条例制定に向けた検討。

(2) 相談・紛争解決の仕組みの明確化

- ・都における相談・紛争解決の仕組みについて、法施行後の各分野における相談事例や取組状況を踏まえて、検討  
(区市町村との連携のあり方については、「障害者権利擁護区市町村連絡会」において並行して検討を行う。)

3 法施行後の課題を検討

- ・これまでの相談受付内容等で、対応が困難な事例や関係部署との連携が必要になった事例等を共有し、関係機関が連携する上での課題等を抽出し、更なる障害者差別解消に向けた取組を検討。

スケジュール(案)

【第3回】

(開催時期)

平成29年夏頃

(議題(案))

- ・障害者の差別解消に向けて(委員発表等)
  - ・障害者差別解消法の普及啓発について
  - ・民間事業者向けの事例集について
  - ・条例の検討状況等について
- 等

【第4回】

(開催時期)

平成29年冬頃

(議題(案))

- ・障害者の差別解消に向けて(委員発表等)
  - ・民間事業者向けの事例集について
  - ・条例案について
- 等